

町立小中学校で活躍中
Assistant Language Teacher
(外国語指導助手)

トビン先生に インタビュー!



Q. お名前と、出身を教えてください。

A. トビン=カールソンです。アメリカ合衆国のワシントン州から来ました。

Q. 神川町に来たのはいつですか?

A. 2019年の7月です。

Q. それ以前に、日本に住んでいたことはありますか?

A. 高校時代に羽生市に住み、春日部女子高校に留学しました。
また、大学生の時は東京の早稲田大学に留学しました。

Q. 日本に来て驚いたことはありますか?

A. 高校生の時、先輩と後輩の上下関係に驚きました。

Q. 神川の好きなところはどこですか?

A. 山、特に城峯公園が好きです。

Q. 神川に来て一番楽しかったことは何ですか?

A. 学校で子どもたちに英語を教えるのが楽しいです。

Q. 日本の子どもたちはアメリカと比べてどうですか?

A. 日本の子どもは静かで、よく先生の言うことを聞くとおもいます。

Q. 神川の子どもたちにメッセージをお願いします。

A. 外国語の勉強は難しいけれど、他の人とのコミュニケーションはとても楽しいので、好きな言葉を勉強してほしいと思います!

【児童・生徒たちの声】

トビン先生はどんな先生ですか?

- ・やさしい
- ・質問しやすい
- ・本場の発音に感動した
- ・数字の歌を授業でやってくれて楽しかった
- ・説明がわかりやすい
- ・詳しく教えてくれる
- ・明るい

様々な国籍の 皆さんとともに



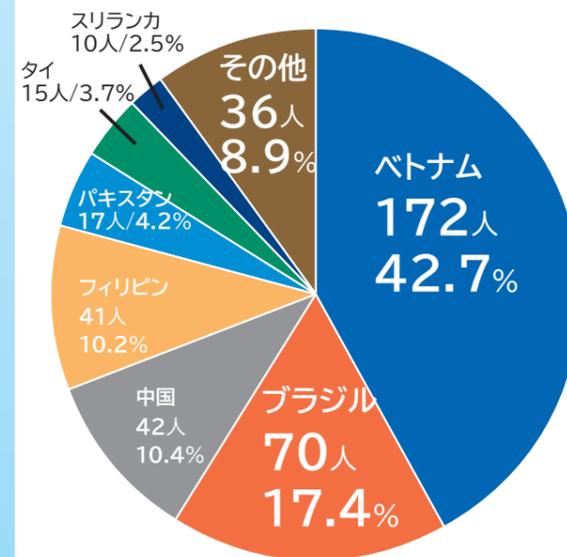
日常生活の様々な場面で、外国の方と接することが増えてきているように感じませんか? 観光に来られる方だけでなく、お店や工場に勤める方など、いろいろなところで外国の方を見かけることが多くなりました。

町内に住む外国人の数は、令和2年8月1日現在で403名(住民基本台帳)となっており、5年前(平成27年8月1日・278人)と比べると125名増加しています。

国籍別にみると、ベトナム国籍の方が172名と最も多く、次いでブラジル国籍の方が70名、中国籍(台湾含む)の方が42名、フィリピン国籍の方が41名と続きます。

国籍や出身に関係なく、すべての人が楽しく安全に暮らせるまちづくりのためには、互いの文化や生活習慣を理解し、尊重しあうことが大切です。また、日本語を母語としない方々にもきちんと伝わるような情報発信や、学習の機会を充実、そして安心して相談できる場所を作ることなどが必要となります。

国籍別外国人の数と割合(2020年)



町内に住む外国人の数(住民登録している方)

